

令和4年度 災害対策本部訓練について

1 はじめに

全国各地において発生している大雪。暴風雪による被害や昨年2月の恵庭市における大雪対応時の教訓を念頭に、恵庭市における風雪害対策を検証することを狙いとし、関係各位のご協力を得ながら作成したシナリオに基づき、令和4年度災害対策本部訓練を実施した。

2 災害対策本部訓練の概要

訓練実施日	令和4年11月8日（火） 09時00分～12 時 15 分		
参 加 人 数	プレーヤー部	コントローラー部	その他防災関係機関
	・本部長（市長） 1 名 ・副本部長（副市長、教育長）2 名 ・総務対策部 20 名 ・支援対策部 10 名 ・経済対策部 9 名 ・保健福祉対策部 8 名 ・生活環境対策部 11 名 ・水道対策部 7 名 ・建設対策部 9 名 ・避難教育対策部 7 名 ・消防本部対策部 12 名	・北海道総務部危機対策課等 6 名	・陸上自衛隊 （第 72 戦車連隊） 2 名 ・北海道警察千歳警察署 2 名 ・国土交通省北海道開発局 （千歳道路管理事務所） 1 名 ・札幌管区気象台 2 名
	計 96 名	計 6 名	計 7 名
	合 計 109 名		
場 所	・第1委員会室（本部員会議スペース、本部長、副本部長等） ・第2・第3委員会室（総務対策部本部班、避難教育対策部避難対策班、各対策部リエゾン、防災関係機関リエゾン） ・各執務スペース（各災害対策部）		
想 定 災 害	風雪害（大雪・暴風雪）		
訓 練 目 的	・災害対策本部員等職員の対応能力の向上 ・災害対策本部意思決定と対応能力の向上 ・防災関係機関との連携		
	検証項目	・恵庭市地域防災計画及び各災害対策部マニュアル等に基づく役割分担と災害対策活動の検証 ・風雪害発生における被害状況予測と優先活動の選択 ・行政サービスの持続等検証 ・恵庭市業務継続計画（BCP）の検証	
訓 練 方 式	・主としてロールプレイング方式（シナリオ非提示） ・一部（事前登録者に対するメール配信、地域FM放送局に対する情報伝達、北海道総合通信局との連携）は実動		
訓 練 想 定	(1) 2月7日（月）昼頃、大雪注意報発表、「除雪に係る庁内連絡会議」開催。 (2) 同日夕、風雪注意報発表、早期注意情報による暴風雪警報の可能性「高」発表。 (3) 同日夜、積雪深84cmに到達、災害警戒本部設置。 (4) 2月8日（火）05：00、積雪深100cm、災害対策本部設置。 (5) 同日06：00、第1回本部員会議、今後の対策を協議。 (6) 同日08：00、大雪警報発表、10分後に第2回本部員会議、対策を協議。 (7) 同日10：30、積雪深130cm、大雪と暴風雪による影響等について札幌管区気象台からホットラインにより注意喚起。 (8) 同日11：00、第3回本部員会議、札幌管区気象台からのリモート参加も得て、今後の気象とその影響について認識を共有し、対策を協議。 ※訓練実施間の事象は(4)以降。		

被害想定	(1) 人的被害 ア 死 者：訓練終了までの間なし。 イ その他：未帰宅者、落雪による生理め、除雪中の体調不良・怪我、交通事故による負傷等。 (2) 住家等 2階屋根からの落雪による1階屋根の一部破損等。
状況付与の一部抜粋	(1) 関係機関等からの問合せ、情報提供等 ・道（振興局）からの状況確認。 ・報道各社からの問合せ。 ・道道の通行止め情報。 ・警察からの情報提供（交通事故、未帰宅者）。 ・ボランティアセンターからのニーズ確認。 (2) 除雪に関する問い合わせ ・自宅や通勤経路の除雪状況確認。 (3) 住家に関する被害・救助要請等。 ・雪でドアが開かず家から出られない。 ・ストーブの排気口が雪で埋まっている（足が悪いので自力で除雪できない）。 ・落雪で窓が割れた。家に住めないで避難したい。 ・雪の重さでカーポートが潰れた。 ・落雪で屋根が変形した。 (4) 交通関係 ・エコバスが来ない。 ・市営駐車場が雪山で狭くなり駐車できない。 ・レンタカーで移動中、道の駅に退避した。宿泊場所を紹介してほしい。 ・雪山に乗り上げて対応上している。除雪車で引っ張って欲しい。 (5) 消防・救急・医療関係 ・市営住宅高層階の火災。 ・一軒家の火災（積雪により接近困難）。 ・屋根からの落雪による生理め。 ・除雪中の体調不良。 ・臨月妊婦の産気。 ・人口透析患者からの救急車要請（タクシーがつかまらないため。） (6) 停電・給水 ・北電ネットワークからの停電通知。 ・電動ポンプによる給水が停電により停止した高層住宅からの給水要求。 ・停電復旧時期の問合せ。
災対本部における対応	(1) 積雪の増加に応じた体制強化 令和4年2月の大雪を契機に、災害対策本部等の設置や体制の基準について、従前の気象警報発表を基準とした要領から気象情報、積雪深、除雪・排雪の実施状況等も含めて総合的に判断して体制を決定する方式に改めたことから、本訓練において適用した。 (2) 行政サービスの一部休止 学校の休校やごみ収集の中止を早期に決定し、混乱を回避した。 (3) 救助要請、問合せ等への対応 「除雪に係る庁内連絡会議」において調整した対処要領を適用し、概ね全件に対応できた。

3 今後の方向性～必要とされる取組

(1) 情報伝達・共有と発信力強化のためDXを推進

公用スマートフォンと情報共有ツールを導入するほか、指揮室（仮称～現在の呼称は作戦室と業務室）機能充実のためモニター増設、庁内動画配信システム、各種ウェブサイトとのリンクを推進する。

(2) 4年に一度の総合防災訓練と翌年から3年間の災害対策本部訓練を一区切りとしたサイクル（4年サイクル）を総括して次のサイクルへ反映

令和5年度総合防災訓練から新たなサイクルを開始し、自主防災組織や関係機関、協定締結先等との更なる連携強化を図る。（総合防災訓練は、「それまでの4年間の集大成」とであると同時に、「その後の4年間の起点」という位置づけ。）

また、これまでの訓練は「発災前後の初動対応」を重視していたものであったところ、今後は「復旧・復興段階における処置・対策」もシナリオに含めることでBCPや受援計画、災害廃棄物処理計画等の検証が出来るよう、訓練の全体像を徐々に変化させる。

第4章 今後の方向性

4-0 今後の方向性

災害対応に対して最も大切なのは、自分の命は自分で守るという自助の考え方であるが、一人（自助）では対応できない場合に、地域住民同士の共助という視点が重要であるのと同様に、行政だけでは対応できないことは多く、行政（職員）と地域（住民）との共助により災害対応に当たるという視点は今後ますます必要であると考ええる。

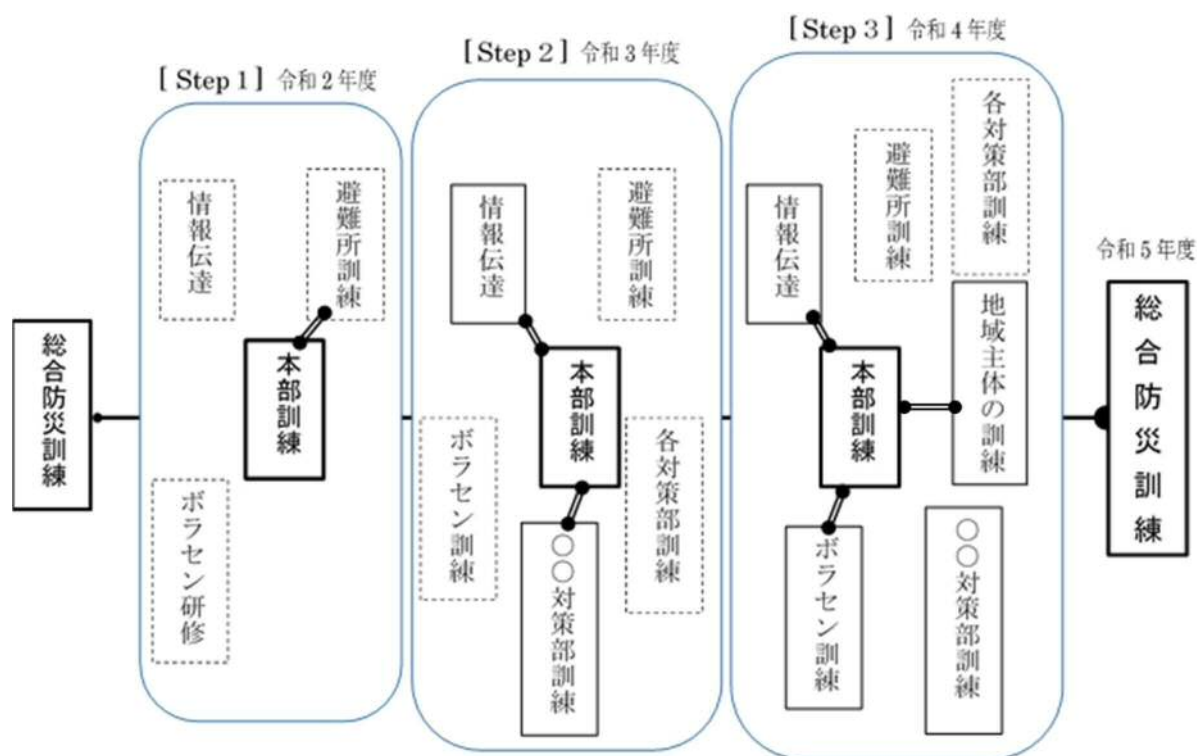
今後も「市の責務（役割）」として備蓄資機材の充実を図るなどの条件整備も引き続き計画的に進めるが、これからはますます「地域の防災力の向上」と「職員の災害対応能力の向上」に力を入れて取り組む必要があり、これらはそれぞれで取り組むものではなく、顔の見える関係づくりも含め具体的な研修・訓練などを通して、この二つの視点は重なり合いながら取り組んでいくものとする。

その取組を通し恵庭という「まち」全体の災害対応力の向上を図っていく。

4-1 機能別訓練の充実

現行でも防災に係る各種研修・訓練を実施しているが、今回の総合防災訓練を契機として様々な個別訓練（以下、機能別訓練と称する）の成果を活かし、今後は機能別訓練を充実させていき、目的や内容によっては機能別訓練と本部訓練との連動や地域との連携を強めていくような方向で計画的・体系的な訓練・研修を積み重ね、4年後の令和5年度の総合防災訓練へつなげていく。

具体的なイメージとして、以下のチャートを参照。



1. 自主防災組織

自主防災組織とは

地域住民が「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識に基づき自主的に結成する防災組織のことをいいます。恵庭市では、地域防災力の向上を目指し、助成事業などを通じて、自主防災組織の設立や活動の充実に向けた支援を行っています。今後は、未組織の町内会の中でもハザードマップにおいてより危険度の高い地域等、優先度が高いと判断される町内会に重点的な働きかけを行っていく予定です。

<自主防災組織の現況>

・自主防災組織数及びカバー率の推移（各年度末時点）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4（予定）
恵庭市組織数	29 団体	38 団体	39 団体	40 団体	42 団体	42 団体	43 団体
恵庭市カバー率（※）	66.7%	80.6%	83.0%	85.2%	86.9%	87.0%	88.2%
全道カバー率	54.3%	56.2%	59.7%	60.5%	61.4%	64.4%	-
全国カバー率	81.7%	82.7%	83.2%	84.1%	84.3%	84.4%	-

※ カバー率＝「自主防災組織の活動範囲にある世帯数」／「全世帯数」

2. 地域版避難所運営マニュアルの作成

長期間の避難を余儀なくされるような大規模災害が発生した際に、町内会・自治会や自主防災組織、避難者、施設管理者等が協力し、円滑な避難所運営や良好な生活環境を確保するための標準的なマニュアル（「恵庭市避難所運営マニュアル」）を平成29年3月に作成。

令和2年5月に、北海道胆振東部地震災害検証委員会の提言や厳冬期の避難所運営訓練の成果を踏まえるとともに、新型コロナウイルス感染症を含む感染症対策を加えた内容の改正を道が実施したことを受け、恵庭市としても避難所運営マニュアルの改正を実施（令和2年6月一部改正）。

また、平成29年度からは、地域や避難所の実情に応じて必要な内容を加えた避難所ごとの「地域版避難所運営マニュアル」の作成に向けた取り組みを以下のとおり進めている。

《令和4年度の取組み状況》

恵み野中学校版、恵み野旭小学校版の作成準備

《これまでの取組み状況》

- ・平成29年度 柏陽中学校版
- ・平成30年度 恵庭中学校版
- ・令和元年度 島松小学校版
- ・令和元年度 恵庭南高等学校版
- ・令和2年度 島松公民館版
- ・令和3年度 柏小学校版
恵み野小学校版



3. 1日防災学校

防災教育を通して児童生徒の「生きる力」、「想像力」を育むと共に、学校・地域・行政の連携による地域防災力の向上を図ることを目的として、柏陽中学校、恵み野中学校、恵庭中学校で実施したほか、恵庭南高等学校に協力した。

① 柏陽中学校

実施日	令和4年10月29日（土）
参加機関等	恵庭市、柏陽中学校校区関係者、北海道危機対策課、地域防災マスター
授業概要	防災講話「災害に備えて」(全学年共通)、D o - H U G (第1学年)、避難所資機材等操作体験(第2学年)、防災食調理体験(第3学年)

② 恵み野中学校

実施日	令和4年11月14日(月)、22日(火)
参加機関等	恵庭市、恵み野中学校校区関係者、北海道危機対策課、地域防災マスター、恵庭市消防
授業概要	防災講話「災害に備えて」(全学年共通)、救急救命学習(第1学年) D o - H U G (第2学年)、避難所資機材等操作体験(第2学年)、

③ 恵庭中学校

実施日	令和3年12月4日（土）
参加機関等	恵庭市、恵庭中学校校区関係者等、厚真町観光協会 原 祐二 氏 北海道危機対策課、地域防災マスター
授業概要	防災講話「北海道胆振東部地震～記憶の伝承」(全学年共通)、 第3学年発表「防災・震災学習で学んだこと」 クロスロード(第1学年)、段ボールベッド組立て体験(第2学年)、D o - H U G (第3学年)

④ 恵庭南高等学校全日制普通科

実施日	令和4年10月25日（火）
参加機関等	恵庭市
授業概要	防災講話「災害に備えて」(全学年共通)

⑤ 恵庭南高等学校定時制

実施日	令和4年12月2日（金）
参加機関等	恵庭市
授業概要	防災講話「災害に備えて」、段ボールベッド組立て体験、備蓄品の展示・説明(全学年共通)

<事業の展望>

- ・学校や地域における防災教育をより一層充実し、一人ひとりが自然災害を正しく理解し、自らの的確な判断の元で、防災・減災行動が取れるよう啓発していく。
- ・学校・地域・行政が各自の立場において、専門性を発揮し、日頃から連携・協働を広め強めていくことにより、災害に強い地域社会を目指す。

4. 出前講座

町内会、学校、各種事業所等からの注文に応じ、感染拡大防止に十分配慮しつつ、防災講話、マイ・タイムライン作成講習、D o - H U G の進行等を実施中。

令和4年度の特性としては、前年（令和3年）5月の災害対策基本法改正に伴う避難情報の修正(避難勧告の廃止等)に関連する事項を中心に、逃げ遅れによる人的被害防止を主眼として防災講話の内容を構成した。また、防災講話以外の注文であっても、法改正に伴う内容を補足説明する等の工夫により最新知識の普及を図った。

《実績》～全39件(次頁に記載)

- 4月17日：恵み野東町内会(防災講話)
- 5月28日：柏陽西町内会(避難所開設体験)
- 6月 2日：長寿大学(D o - H U G)
- 6月 4日：恵み野地区役員会(地域版避難所運営マニュアルの説明)
- 7月14日：有明あすなろ会(防災講話)
- 7月23日：柏小学校P T A(地域版避難所運営マニュアルに基づく避難所開設)
- 8月 5日：F Me-niwa(小学生向け防災講座における防災講話、段ボールベッド作成)
- 8月24日：恵庭市自立支援協議会地域つながり部会(防災講話)
- 8月28日：幸町町内会(防災講話)
- 8月30日：桜町町内会役員会(防災講話)
- 9月 2日：黄金北恵愛会(防災講話)
- 9月 2日：末広町町内会(防災講話)
- 9月 3日：福住1丁目町内会(マイ・タイムライン作成)
- 9月11日：恵み野南・西・里美町内会(恵み野小学校避難所開設訓練)
- 9月11日：白樺南町内会(防災訓練における段ボールベッド作成)
- 9月17日：本・新町町内会(防災講話)
- 9月20日：青年会議所(備蓄品の展示・説明)
- 10月 1日：消費生活展(備蓄品の展示・説明)
- 10月 2日：大町町内会(防災訓練)
- 10月 5日：島松本町町内会(防災講話)
- 10月 7日：島松旭町町内会(防災講話)
- 10月15日：本・新町町内会(自主防災組織説明会)
- 10月16日：恵み野北町内会(防災講話)
- 10月20日：大町友の会(防災講話)
- 10月23日：島松東町町内会(防災訓練における段ボールベッド作成と備蓄品の展示・説明)
- 10月25日：恵庭南高等学校全日制普通科(一日防災学校)
- 10月29日：柏陽中学校(一日防災学校)
- 11月12日：中島町町内会(防災講話、避難所設営体験)
- 11月13日：N P O法人まちづくりスポット恵み野(防災イベントにおける備蓄品展示・説明)
- 11月14日：恵み野中学校(一日防災学校)
- 11月22日：恵み野中学校(一日防災学校)
- 11月26日：住吉町町内会(防災講話)
- 12月 2日：恵庭南高等学校定時制(一日防災学校)
- 12月 3日：恵庭中学校(一日防災学校)
- 1月18日：柏小学校第5学年(防災講話)
- 1月27日：柏小学校第5学年(D I G)
- 2月 8日：柏小学校第5学年(D o - H U G)
- 2月24日：新日本婦人の会恵庭支部(防災講話)
- 2月24日：恵み野北町内会、恵み野東町内会(地域版避難所運営マニュアル)

5. 災害時応援協定の締結

大規模な災害が発生することに備え、他の地方公共団体や民間事業者等と協定を結び、迅速かつ広域的な災害対策を実施できる体制を構築するため、災害時応援協定を締結(全 85 件)。

《令和 4 年度の締結先》ウォレットジャパン株式会社：災害時における各種コンテナ製品等の供給に関する協定
(令和 5 年 1 月 30 日締結)